

東京都立国際高等学校

For

What's more can we do ~世界の労働者を私たちの手で守る~

エシカル消費の中で、身近なファッションに焦点を当てて活動している。

フェアトレードやファストファッション、エシカルファッションについてポスターとアニメを作成、拡散。SNSでエシカル消費やエシカルファッションについて紹介。今後もフェアトレード認証されたもの、エシカルファッションを買うようにしたい。



國學院大學久我山高等学校

久我山環境保全プロジェクト

ゴミから見る環境保全

本校が排出しているゴミの量に驚き、回収業者に講話を開いてもらった。現在、ペットボトルのキャップをより良くリサイクルする活動、ゴミを減らすために3Rを啓発、バザーで不用品の販売をするなど、ゴミの排出量削減を目指している。



東京都立国分寺高等学校

生物部カラスバト班

調査研究「天然記念物カラスバトはどのような環境を好むか」

天然記念物のカラスバト。個体数も少なく、生息地も伊豆諸島や近海の島嶼部に限られる。本種がいなくなってしまうということになりかねないと思い、この鳥がどのような環境を好むのかを考察。結果を公表し広く沢山の人に知ってもらおう。



東京都立大島海洋国際高等学校

波浮姫ゴミ拾い隊

大島における海洋ゴミの漂着状況について

大島波浮港の特定の浜で、ゴミの漂着状況を確認し、回収を行った。回収したゴミは、種類ごとに分類し重量を測定。月毎に漂着状況に違いがあり、プラスチック類、外国からの漂着ゴミ、ビンやペットボトルなどの日用品が多く回収された。



東京都立大島高等学校

カメラユナイテッド

島の地域資源「ツバキ」を守れ ~特定外来生物タイワンリスを撃退せよ~

伊豆大島の特産品であるツバキを守り、伊豆大島の生態系や島民の生活を守ることがねらい。ツバキを食害するタイワンリス問題を看過できなくなり、防除に取り組み126匹捕獲。町の政策が変わり、捕獲方法の説明会も開催された。



洗足学園高等学校

横浜川崎Blue Earth Project

Take Action Make Change

プラスチックごみ問題、COOL CHOICE、SDGsなどに取り組んでいる。活動はイベントへの参加。①SATOYAMA&SATOUMIへ行こう! 2019「クイズ、ミサンガ作り、写真立て、ペットボトル加湿器作り」、②エコライフ・フェア「ペットボトル加湿器作り」、③SDGsの説明など。



光明学園相模原高等学校

理科研究部

カワラノギクの保全と地域の生物多様性

河川の丸石河原に生育するキク科の植物カワラノギクが急激に減少している。すでに生育が確認されている場所は、相模川水系、多摩川水系、鬼怒川水系のみ。地域の方々や行政の方、研究者と共に、絶滅させないための活動を継続している。



慶應義塾湘南藤沢高等部

環境プロジェクト

人との繋がりが広げる環境活動の輪

有志団体として約125名で活動している。今年度の活動目標は、SDGsの啓発。5つのワーキンググループで活動し、2002年の設立当初から活動している①高校生環境連盟、②教育デザイン班。さらに③企業連携班、④子供支援班、古民家班に取り組む。



学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校

バイオメタン班

バイオメタンのある暮らし

校内でバイオメタン生成実験を実施。太陽熱温水器、太陽光・風力発電機を用いてバイオメタン施設運転に必要な熱や電気を作り、他からの供給に頼らないでバイオメタンを生成する「自立型バイオメタンシステム」の実際の運転を行っている。



静岡県立清水西高等学校

自然科学部

熱中症予防のための実測データ活用の提案

気温が身体にどのように影響を与えるかを知ることが熱中症予防に必要なだと考えた。8月に1時間ごとの気温と脈拍、呼吸数を調べ、気温と身体の変化に関係があることがわかった。今後は気温の変化傾向について詳しい研究に取り組みたい。



静岡県立浜松城北工業高等学校

環境部

~「地球にやさしいエンジニア」を目指して~

①椎ノ木谷での里山づくり・森づくり・自然保護活動、②「城北リサイクルステーション」、③「城北の森」づくり・芝生化整備、④浜松城公園・「葵の小道」づくり、⑤中田島砂丘・浜名湖・佐鳴湖クリーン作戦、⑥浜松市防潮堤・植樹など。



オイスカ高等学校

浜と松プロジェクトチーム

「浜と松プロジェクト」

①浜松市の観光スポット「日本三大砂丘」中田島砂丘の再生、保全⇒定期的な清掃活動、砂の移動状況の観察、飛砂を抑えるため、在来沿岸植物の播種など。②徳川家康が植えた浜松市木「松」、海岸松林の再生、保全⇒抵抗性マツ林の管理など。

